



## 動作概要

**停止** 電気を使いすぎると、使用電流に応じて電気機器を自動的に停止します。

**停止動作** ピークカット動作は次の順序で行われます。

- ①使用電流が定格電流の110%(電流制限器なしの場合は100%)を超えるとCH1に接続されている電気機器を自動的にOFFします。(使用電流レベル表示のLEDは点灯から点滅に変わります。)HA機器(CH1、CH2)が接続されていない場合、CH1、CH2の制御をスキップします。
- ②使用電流が定格電流の100%(電流制限器なしの場合は90%)以下になるまで順次、CH2⇒CH3⇒CH4の順に電気機器を自動的にOFFします。

設定電流(定格電流)に対する使用電流の割合	電流制限器ありの場合		20%を超え80%以下		80%を超え100%以下		100%を超え110%以下		110%を超え120%以下		120%を超え140%以下		140%を超える	
	電流制限器なしの場合													
説明	[緑]色1つランプが点灯します。		[緑][黄]色2つランプが点灯します。		[緑][黄][赤]色3つランプが点灯します。		[緑][黄][赤]色3つランプが点灯します。		[緑][黄][赤]色3つランプが点灯します。(電気機器の停止後、ランプが点滅します。)					
音声表示器のレベル表示	■		■ ■		■ ■ ■		■ ■ ■		■ ■ ■		■ ■ ■		■ ■ ■	
音声メッセージ「電気の使用すぎです」			なし		なし		3分ごと		10秒ごと		5秒ごと		5秒ごと	
電気機器の停止			なし		なし		45秒後		15秒後		5秒後		2秒後	
コントロール回路の手動ON(注)			可		可		可		不可		不可		不可	

(注)電気を使いすぎている場合、コントロール回路に接続された電気機器のスイッチを手動でONすることはできません。(ONするとすぐにOFFします。)

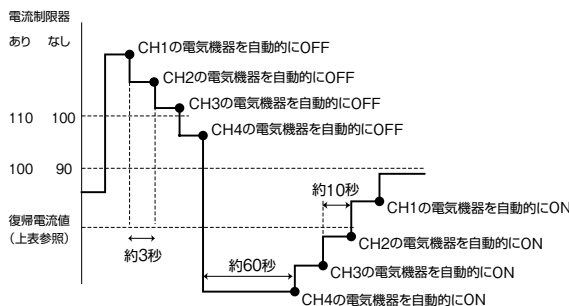
**復帰** ピークカット動作によりOFFした電気機器は自動的にONします。

**復帰動作** 復帰動作は次の順序で行われます。

- ①定格電流に対して設定された復帰電流値以下の値が60秒間継続したときCH4の電気機器を自動的にONします。
- ②CH4が復帰した後、使用電流が定格電流の100%(電流制限器がなしの場合90%)以下の場合、約10秒後にCH3⇒CH2⇒CH1の順に電気機器を自動的にONし、全ての電気機器がONするとHA機器(CH1、CH2)が接続されていない場合、CH1、CH2の制御をスキップします。

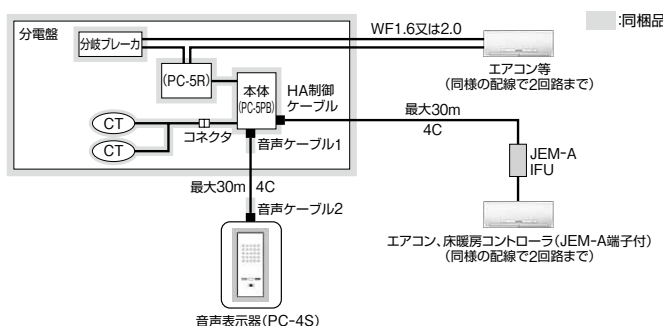
定格電流値	復帰電流値	
	あり	なし
30A	21A	18A
40A	32A	28A
50A	42A	38A
60A	52A	48A
75A	63A	63A
100A	88A	88A

## 動作時のタイミングチャート



(注)電気機器を接続していない場合や運転していない場合、制御をスキップする場合があります。

## 配線図(例)



この価格には消費税は含まれておりません。

## 付属品

- ・本体(PC-5PB)..... 1台(分電盤組込済)
- ・リレーボックス(PC-5R)..... 1台(分電盤組込済)
- ・音声表示器(PC-4S)..... 1台
- ・専用変流器..... 1セット(分電盤組込済)
- ・音声ケーブル1(PC-4CB1)..... 1本(コネクタ:黒シース付き)
- ・音声ケーブル2(PC-4CB2)..... 1本(コネクタ:黒シースなし)



音声ケーブル1(PC-4CB1(黒)約200mm)



音声ケーブル2(PC-4CB2(黒)約150mm)

・音声ケーブルの価格P.C-147参照

## オプション



HA制御ケーブル(PC-4CW(白)約200mm)

ご注文品番	標準価格(円)
PC04CW	800

コネクタ:白シース付き。CH2の電気機器を接続する場合には、電気機器の台数分を別途ご購入ください。

## IFUについて(市販品)

### 推奨IFU

・パナソニック... 型番WTF47204WK、WTF47214WK相当品(その他JEM-A規格に準ずるIFUが使用可能です。十分に動作確認を行ってご使用ください。)

### HA制御ケーブルの電線色と推奨IFU端子

(東芝ライテック、パナソニック)互換表

電線色	東芝ライテック	パナソニック	JEM-A規格
黒(TC1)	CA1(アオ)	TC1	CA1
白(TC2)	CA2(シロ)	TC2	CA2
赤(TM1)	TA1(チャ)	TM1	MA1
緑(TM2)	TA2(クロ)	TM2	MA2

(注)電気機器によっては、IFUと電気機器の間にオプションパーツが必要な場合があります。詳細は各電気機器メーカー様にお問い合わせください。

## テスト動作

施工後は、必ずテスト動作による動作確認を行ってください。

### テスト動作起動方法

- 1.本体(PC-5PB)に接続された電気機器のスイッチを全てONにします。
- 2.「電流制限器ありなしスイッチ」を他のポジションにいったん移動し、3秒以内に元の位置に戻すとテスト動作を開始します。

### テスト動作内容

- 1.CH1→CH2→CH3→CH4の順に電気機器を自動的にOFFした後に、CH4→CH3→CH2→CH1の順に電気機器を自動的にONします。
- 2.音声表示器から「電気の使用すぎです。」と音声メッセージを出力します。(音量調節スイッチが「切」の場合、音声メッセージは出力しません。)
- 3.テスト動作中は、LEDが次の状態になります。
- 4.使用電流LED(音声表示器)が「1個点灯」→「2個点灯」→「全点灯」→「全消灯」を繰り返します。
- 5.電源LED(本体)が点滅します。

(注)テスト動作は接続された電気機器の台数によって異なり、約30秒～1分程度かかります。

(注)電源をリレー制御する電気機器の場合、電気が復帰しただけでは動作しないものがあります。このような場合、テスト動作後に、電気機器付属のリモコン等で電源を入れなおしてください。